

6月21～22日の大雨で遠賀川河口堰に 大量のゴミが流れ着きました！！

遠賀川河口堰上流左岸側（6月23日13:30撮影）



6月21～22日の大雨によって、遠賀川河口堰に大量のゴミが流れ着きました。

ゴミの量は推定で

約700～900m³の見込みです。

これは小学校の25mプールで約1.5杯分にあたります。

塵芥流出状況（6月23日9:00撮影）



例年ゴミは河口堰の上流側に溜まりますが、今年は堰の下流側に流れだしました。

このまま放置すると河口へと流れ出て海岸や港湾施設に打ち寄せられることが予想されるため、遠賀川河川事務所が所有する水面清掃船等により6月25日より撤去作業を行っています。

ゴミの多くは草木類で全体の約7割を占めています。その他ペットボトル、発砲スチロール等の生活ゴミですが、テレビ、タイヤ、遊具等ありとあらゆる種類のゴミが混在しています。

遠賀川はみんなの川です。その水は多くの人々の飲み水に利用されています。今後も川にゴミを捨てないように周知をしていきます。

【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 管理課

課長 平松 英樹

国土交通省 遠賀川河川事務所 河口堰管理支所

支所長 中司 哲夫

TEL0949-22-1830

係長 中嶋 将之

TEL093-201-1675

係長 古賀 哲郎

～ 発表先 ～

○直方地区 ○田川地区 ○飯塚地区 ○北九州地区

(参考資料)

○近年のゴミ回収量

遠賀川河口堰は、水巻町と芦屋町にまたがる遠賀川最大(長さ517m)の可動堰です。遠賀川の最下流に位置する河口堰には、大雨が降って洪水になる度に遠賀川流域のゴミが大量に流れ着きます。その量は洪水の規模や回数に左右されますが、近年の河口堰で回収したゴミの量は下表のとおりで、処理費用は年間約1千万円程度です。

年	ゴミの量
平成11年度	2,700 m ³
平成12年度	1,200 m ³
平成13年度	900 m ³ (堰全開操作有り)
平成14年度	800 m ³
平成15年度	2,600 m ³ (堰全開操作有り)
平成16年度	3,200 m ³
平成17年度	600 m ³
平成18年度	3,400 m ³
平成19年度	1,340 m ³
平成20年度	700~900 m ³ (6月現在)

ゴミ内訳 (平成19年度)

全体の約60%自然系のゴミ 草木が川に流出したもの
 全体の約40%生活系のゴミ 廃プラスチック、ガラス、金属等

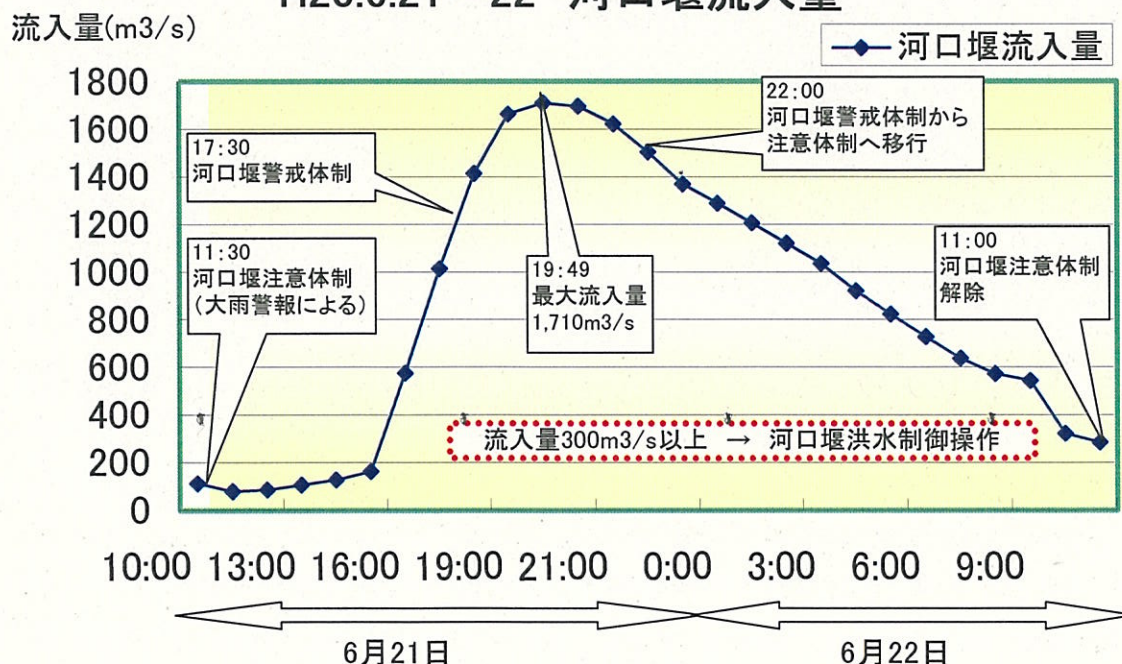
*河口堰のゲート操作は、ゴミを下流に流出しないように細心の注意を払いながら操作していますが、平成13年度と平成15年度には非常に大きな洪水があり、安全のためゲートを全開しなければなりません。したがって実際に漂着したゴミの量は、上表の回収量より多かったと推定しています。堰下流から海の方へ流出したゴミは、海岸や漁港へ漂着して問題となりました。

○今後の予定

25日より堰下流の塵芥回収作業開始
 26日より堰上流回収開始
 作業の完了まで約2週間、7月初旬まで要すると見込んでいます。

○H20.6.21~22 出水 河口堰流入量と堰防災体制

H20.6.21~22 河口堰流入量



※塵芥回収イメージ



平成18年の出水で堰下流に塵芥が流出した際の、回収作業状況です。
オイルフェンスを使用して、作業船2隻で岸の方へ引き寄せます。



岸の方へ引き寄せた後は、バックホウで掴み取り、山積みにした後に分別作業を行います。

今回の出水では、遠賀川10k600付近（中間市役所付近）から上流の高水敷が浸水しました。高水敷を超える出水になると河口堰に塵芥が流出してきます。